

# NEWS健診だより

第10号

2025年8月1日  
発行

NEWS健診だよりは、緊急作業に従事された方々の健康サポートのため、実施された健康診断結果等に基づくご報告や放射線の健康影響に関する研究活動の進捗などについて年1回お届けしています。



目次	P 1	令和7年度（今年度）のNEWS健診について
	P 3	NEWS疫学研究の組織構成と研究内容
	P 5	これまでの健康調査で判明したこと、これから進めるDNA研究のこと
	P 8	お知らせ 郵便調査を予定しています
	P 9	健診担当者からのメッセージ
	P10	知っとく Vol.8 高尿酸血症と食事
	P13	皆さまからのお声 I
	P14	皆さまからのお声 II / NEWS健診だより第9号のアンケート結果
	P15	オンラインコミュニティ応援隊の活動 / 公式ホームページのご案内

## Photo:美山かやぶきの里 お田植祭

京都府南丹市美山町の北集落は「かやぶきの里」として知られています。江戸時代から明治時代にかけて建てられた茅葺き屋根の多くが現存し、平成5年には国の重要伝統的建造物群保存地区に選定されました。現在、集落の住民による歴史的景観の維持管理、住民生活の保全が行われています。毎年5月には五穀豊穡を祈願してお田植祭が行われます。

■写真提供：労働安全衛生総合研究所

# 令和7年度（今年度）のNEWS健診について

昨年度から始まった第3期健康調査から、緊急作業従事者の皆さまを西暦の生まれ年が偶数・奇数で分けて隔年で健診を行っています。**令和7年度のNEWS健診は生まれ年が西暦で奇数の方が対象です。**したがって、生まれ年の西暦が偶数の方は来年度の受診になります。

## A：これまでにNEWS健診を受けた方、またはすでに研究参加の同意をされた方の場合

### Step1 ▶ 健診の申し込み

本年3月にNEWS健診参加意向調査一式をお届けしています。まだお申し込みをされていない方で、健診を希望される方は同封の書類にもれなくご記入の上ご返送ください。

#### 返送いただく書類 – 3種類 –

[返信用1] NEWS健康診断申込 回答用紙

[返信用2] 放射線業務従事者の健康影響に関する疫学研究同意書

※「研究協力に関する同意書」「同意書宛先変更確認書」が入っている方は、これらへのご記入もお願いします。

[返信用3] 健康と生活習慣に関する質問票

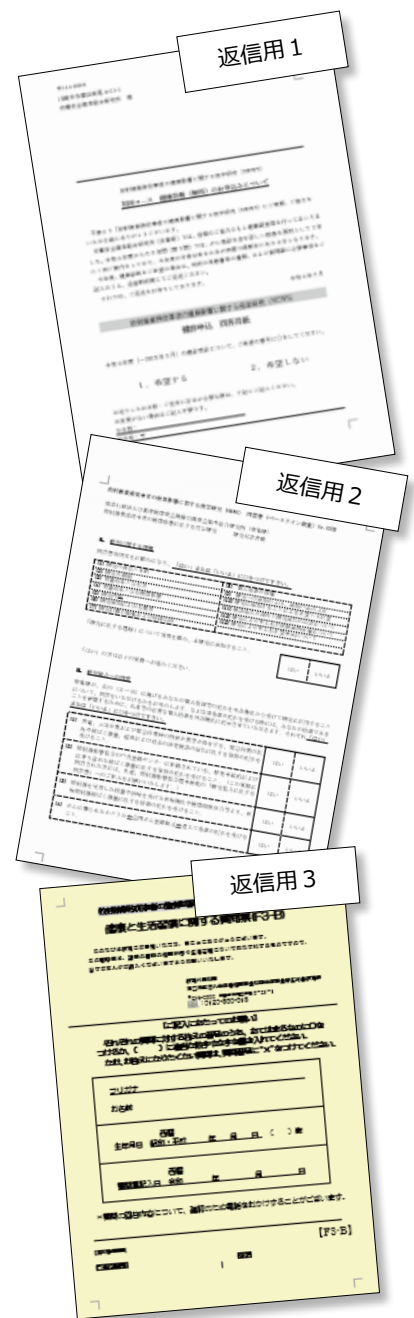
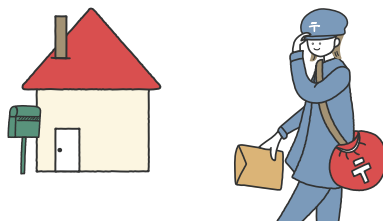
※ご返信は2026年1月10日(消印有効)まで受け付けいたしますが、**お早め**にお申し込みください。

※ご記入の内容について、お電話や郵送、メール等で確認をさせていただきます場合があります。

※今年度のお申し込みがない場合は、**令和9年度（2年後）**の受診となります。

### Step2 ▶ 健診予約方法の案内書類が届きます

送付いただいた書類が安衛研に到着後、予約センターから健診の**予約方法・健診機関リスト**のご案内が**郵便**で届きます。



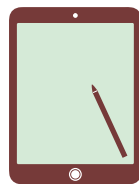
**Step3 ▶ご自身で予約センターへご連絡をしてください**

届いた予約方法の説明に従って、希望する健診機関と受診希望日（第3希望日まで）をご自身で予約センターへ連絡して健診予約のお申し込みを行ってください。方法は案内書類に掲載している URL からの WEB 申込、または郵送のどちらかを選んでください。

予約申込の締め切りは **2026 年 1 月末**までを予定しています。



パソコン

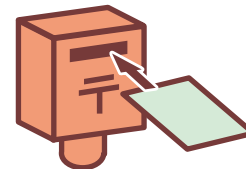


タブレット



スマホ

または



投函

締め切り前でも希望者が予定人数に達しましたら、予約を終了させていただく場合があります。また、健診機関によって予約可能な日が限られている場合があります。予めご了承ください。

**◆ 健診費用等について ◆**

健診費用はかかりません。ご自宅または職場から最寄りの健診機関までの往復交通費（安衛研規程により算出）、ならびにご協力に対する謝礼金をお支払いいたします。

健診結果により精密検査を受診されることになった場合の費用は、ご自身のご負担となります。

**◆ 健診のキャンセル ◆**

健診のキャンセルはお控えください。最近、直前または当日キャンセルをされる方が増えています。各健診機関では皆さまお1人ずつの健診準備を整えてお待ちしております。直前キャンセルをされますと健診機関や他の受診者の方にご迷惑をおかけすることになりますので、急病等のやむを得ない理由以外での直前または当日のキャンセルは絶対にお控えくださいますようお願いいたします。やむを得ずキャンセルをされる場合は、必ず受診先と下記の NEWS 健診予約センターの両方にご連絡ください。

**NEWS 健診予約センター フリーダイヤル ☎ 0120-338-669**

(平日 9:00 ~ 18:00) 土曜・日曜・祝日を除く

**B : 初めて NEWS 健診を希望される方の場合****Step1 ▶下記の E-mail または電話でお申し出ください**

▶ E-mail : [info.newstudy@h.jniosh.johas.go.jp](mailto:info.newstudy@h.jniosh.johas.go.jp)

E-mail の場合はご本人確認のため、正確にお名前、生年月日をご記入ください。

▶フリーダイヤル : 0120-865-618 (受付時間 9:00-17:00、土・日・祝日を除く)

**Step2 ▶初回受診のための案内書類を郵送します**

今年度の健診対象の方には健診の案内書類を送ります。必要事項をご記入のうえご返信をお願いします。今年度の対象でない方には対象の年に健診の案内書類を送ります。

# NEWS 疫学研究の組織構成と研究内容

NEWS 疫学研究は、労働安全衛生総合研究所の労働者放射線障害防止研究センターが研究統括本部を務めています。これに多くの専門機関が加わった共同研究体制を築いて運営しています。ここでは研究統括本部と①～⑥の分科会の研究内容について紹介します。

## 研究統括本部

研究統括本部はこの研究の基本的な研究計画を立てたうえで  
研究の進行を包括的に管理・運営しています。

### 主な調査研究および業務内容

- ・健康調査の企画・方法を検討、および検査方法等の標準化。
- ・健診を実施している各地の健診機関と委託業者を通じて個別契約を締結。
- ・緊急作業従事者の皆さまのうち、その年の対象者の方へ健康調査のご案内と研究協力等の同意伺い。
- ・健診受診後の結果データをデータベースシステムに集約し、安全性の高いデータセンターにて適切に管理。
- ・皆さまの同意に基づき右ページ①～⑥の分科会に個人情報を含まない形式でデータを提供。
- ・血液や尿などの検体を凍結して将来の研究に活用できるよう長期保存し、基本的解析を行う。
- ・緊急作業従事者の皆さまが記入した質問票の回答をもとに、生活習慣病と放射線被ばくの関係などを解析。
- ・がん罹患調査や死因調査を統計的に解析。

©労働者健康安全機構 労働安全衛生総合研究所

2025年度 健診機関分布図 258機関



情報提供

研究報告

### ① 臨床調査分科会

がん以外の疾患の中で、脳・心疾患をはじめ生活習慣病など罹患者の多い疾病と放射線被ばくとの関係を調べています。また、放射線被ばくと甲状腺がんおよび良性甲状腺疾患の関係を長期に観察する調査研究をしています。

◎放射線影響研究所／◎自治医科大学／◎量子科学技術研究開発機構 放射線医学研究所／  
◎広島大学原爆放射線医科学研究所／◎日本原子力研究開発機構

### ② 社会的特性分科会

以前から福島第一原子力発電所に勤務していた緊急作業従事者の皆さまのうち、多くの方が地震や津波の被災者でもありました。また、事故後の緊急作業に従事した皆さまの多くは、遠隔地から臨時で集められた人たちであったと考えられます。このように、一般の労働者と比較して緊急作業以外にも健康を損なうおそれのある環境要因にさらされていた可能性があるため、それらの因子が関与する健康影響の関係を調査研究しています。

◎星総合病院

### ③ 白内障調査分科会

目の水晶体は放射線感受性の高い組織のひとつで、低線量被ばくでも白内障を発症する可能性があることが知られています。この分科会では提携している眼科医院を受診された緊急作業従事者の皆さまの検査結果を解析し、緊急作業による放射線被ばくと水晶体混濁などの発生の関係を調査研究しています。

◎金沢医科大学

### ④ 心理的影響調査分科会

健診受診に際して提出していただいている「心の健康に関する質問票」と、健診時に面接員が直接ご本人とお会いして聴取した面接データの解析結果をもとに、うつ病などの心理的影響と緊急作業との関係について調査しています。

◎産業医科大学産業生態科学研究所

### ⑤ 線量評価分科会

原子力施設等で放射線業務に従事されている方は、就業中に外部線量計を携帯し、被ばく線量の測定をされています。第一原発事故では、2011年3月からの数か月、外部被ばくに加え、飛散する放射性物質による内部被ばくが起こった可能性があります。これにより放射線の各臓器に及ぼす影響も懸念されています。この分科会では、個人ごとの外部被ばく線量および内部被ばく線量を推定する研究を行っています。

◎量子科学技術研究開発機構 放射線医学研究所／◎日本原子力研究開発機構

### ⑥ 健康管理データベース分科会

健診用WEBアプリケーションを開発し、緊急作業従事者の皆さまがご自身の健診データをスマートフォンやパソコンを活用して経年的に閲覧し健康チェックができるように、また次回健診の予約や問い合わせ等の双方向のコミュニケーションできるようになることを目指しています。緊急作業従事者の皆さまが高齢になられても、個々に応じた健康支援を継続できる体制を検討しています。

◎産業医科大学産業生態科学研究所／◎労働者健康安全機構 労働安全衛生総合研究所

## これまでの健康調査で判明したこと、 これから進める DNA 研究のこと

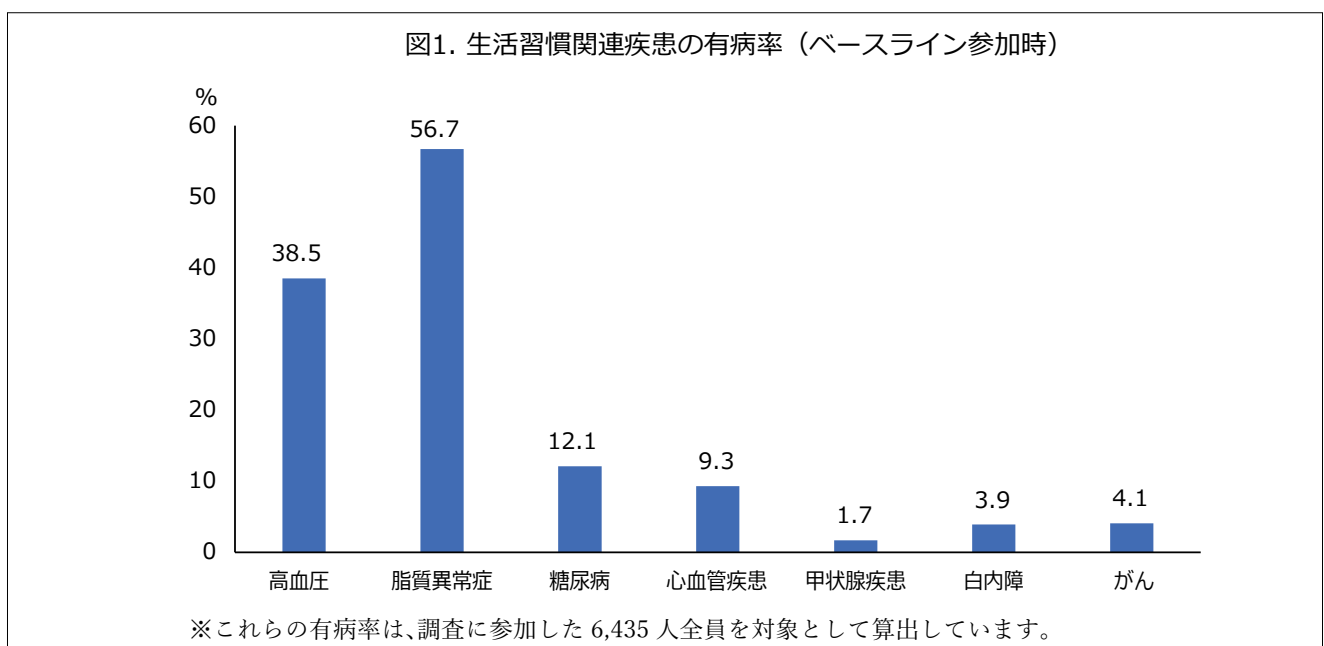
皆さまにご協力いただいた質問票の調査や健康診断のデータは、緊急作業従事者の皆さまの放射線による健康影響を明らかにするために大変重要なデータとなっています。ここでは今までにご協力いただいた質問票の調査結果を解析し判明したこと、さらにこれから進めていく DNA 研究について紹介します。

### ▶ 質問票の調査から判明したこと

2015 年度から 2023 年度までに、6,435 人の方が健康診断を受けて質問票へのご回答をくださいました。今回は、ベースライン（1 回目多項目健診）の結果や質問票のご回答をもとに、健康状態や生活習慣に関する調査結果の一部を紹介します。

### 健康状態について

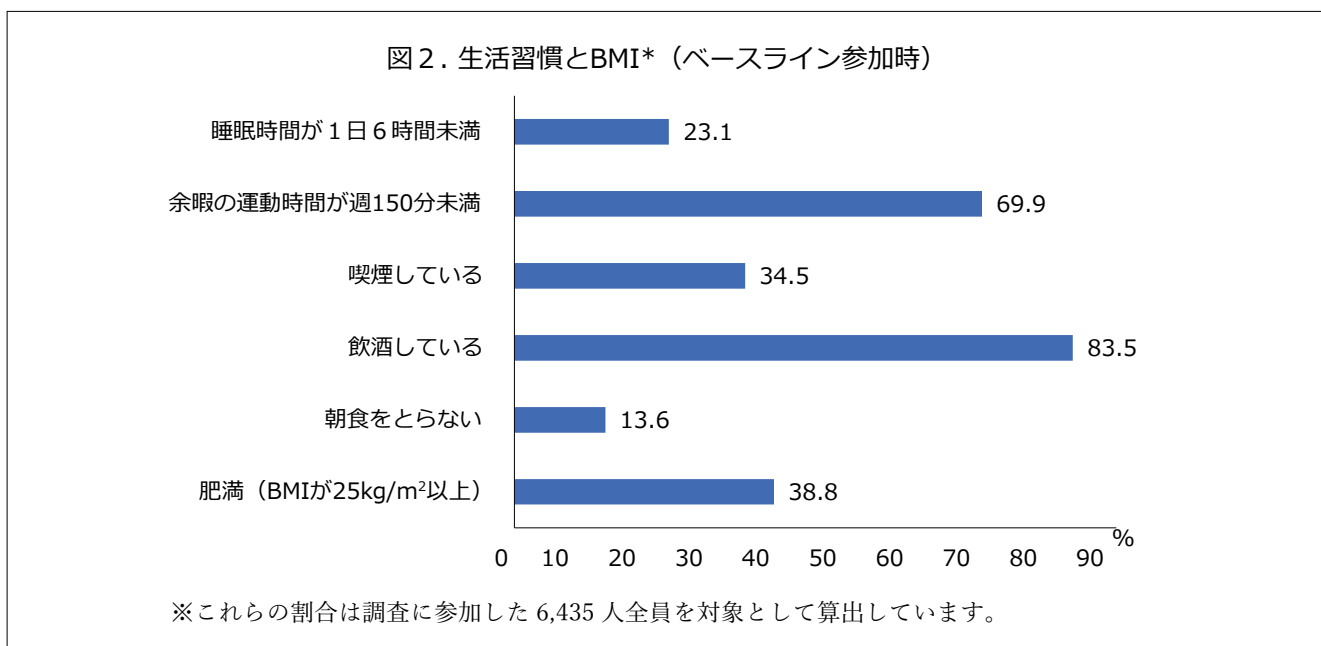
ベースライン（1 回目多項目健診）を受診した方の年齢は 23 歳から 80 歳と幅広く、これらの方の現在の平均年齢は 52.4 歳で、参加者のほとんどは男性でした。図 1 は、自記式の質問票や健康診断の結果から確認された高血圧、脂質異常症、糖尿病といった生活習慣病の割合を示しています。これらの病気は、将来的に心臓病や脳卒中などの深刻な病気につながる可能性があるため、早めの予防や管理が大切です。また、脳・心血管疾患、甲状腺疾患、白内障、がんについても、自己申告によるデータをもとに有病率を確認しました。



## 生活習慣について

生活習慣（睡眠、運動、喫煙、飲酒、食事など）は、生活習慣病をはじめとするさまざまな健康リスクと関係しています。また、放射線が健康に及ぼす影響を正しく評価するためにも、これらの要因をあわせて検討することが重要です。そのため質問票で生活習慣について詳しくお尋ねした結果、研究参加者の方の生活習慣とBMI\*には以下のような特徴が確認されました。

\*BMIは [体重 (kg)] ÷ [身長 (m) の2乗] で求められます。



これらの結果から、健康的な生活習慣が十分に定着していないことが分かり、今後の健康づくりに向けた支援の重要性が示されています。

## 研究の現状と展望

緊急作業従事者の皆さまのうち、多くの方が以前より原子炉関連の作業に関わっておられたものと推察されます。こうした作業に携わった皆さまから、放射線被ばくによる健康への影響について心配されている声を多くいただいています。しかし、放射線による健康への影響は、仮にあったとしても、多くの場合10年、場合によっては20～30年といった長い期間を経てから現れることが知られています。私たちは約10年間にわたり、調査にご協力いただいた皆さまの健康情報を収集することができました。これまでに集めたデータをもとに、現在放射線被ばくと健康影響に関する解析を進めているところです。初期解析では、明らかな影響は確認されておりません。今後さらに詳細な解析を続け、結果がまとまり次第できるだけ早く公表し、皆さまに報告する予定です。これまでにご参加いただけていない方には、ぜひご参加を検討いただき、すでにご参加いただいている皆さまには、今後も引き続きのご協力をお願いいたします。

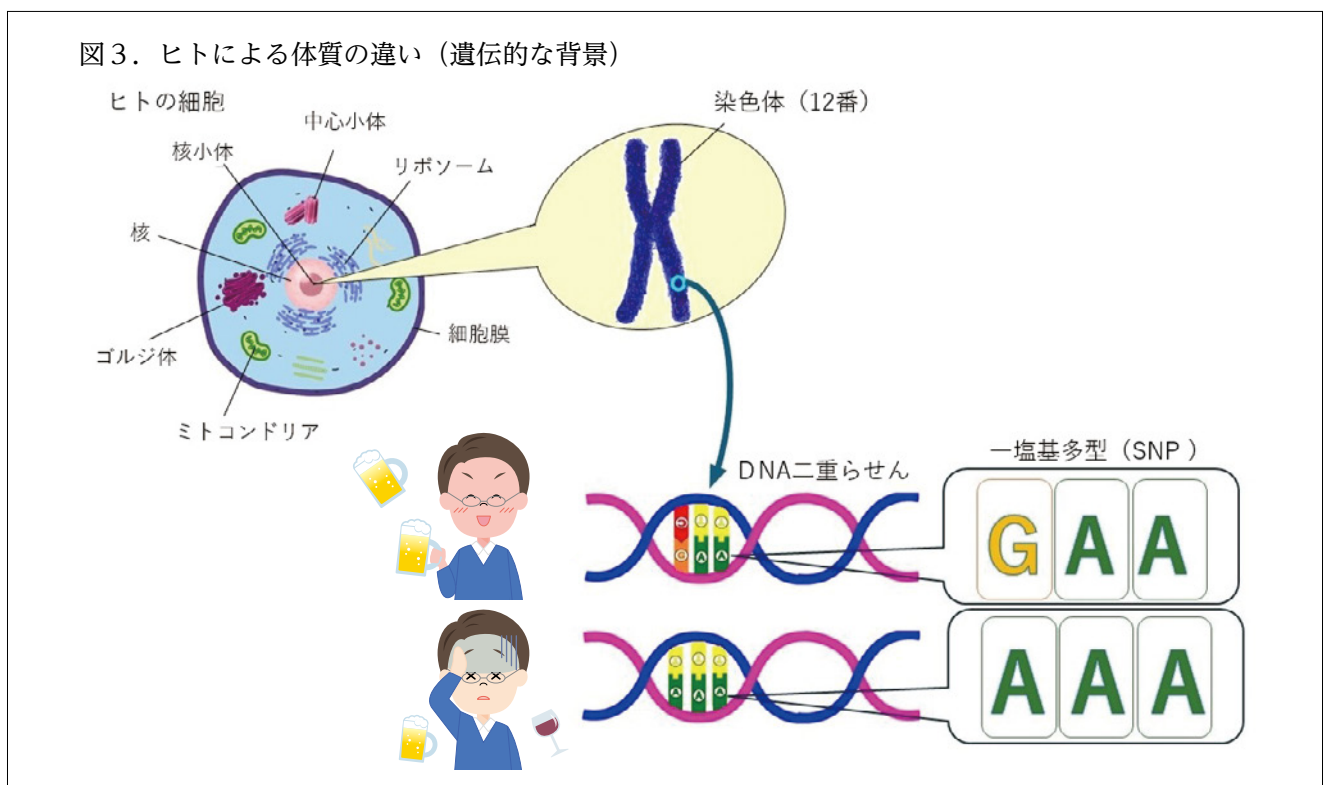
▶これから進める DNA 研究のこと

**体質の違いと放射線の影響 一病気のなりやすさには個人差があります一**

私たちが病気になる原因には、食事や運動、喫煙などの生活習慣といった「環境の影響」があります。その中の一つに「放射線を浴びること（放射線被ばく）」も含まれています。例えば、原爆被爆者を対象としたこれまでの研究では、放射線を浴びることのがんなどの病気になりやすくなることが分かっています。

ただし、放射線の影響はすべての人に同じように現れるわけではなく、「人によって違いがある」ことも分かってきました。その理由の一つに「体質の違い」、つまり「遺伝的な背景（生まれ持った体のしくみ）」が関係していると考えられています。

私たちの体の設計図である「遺伝情報」は、DNAによってつくられています（図3を参照）。DNAのほとんどは誰でも共通ですが、親から子へと受け継がれる過程で、少しだけ違いが生じます。この違いの一つが「一塩基多型（SNP / エスエヌピー）」と呼ばれるものです。



SNPは「ある病気にかかりやすい」「お酒に強い・弱い」といった体質に関係していることが分かっています。例えば、上のイラストのようにお酒に弱い人は、体内でアルコールを分解する酵素の働きがSNPの違いによって弱くなっている場合があります。また、生活習慣病のなりやすさも、生活の仕方だけでなく、生まれつきの体質によって左右されることが知られています。

最近では、こうした「病気になりやすい体質」に関する研究が急速に進んでおり、遺伝情報を幅広く調べることで、新しい知見が得られつつあります。

## 研究内容

本研究でも緊急時の放射線作業に当たった皆さまの健康影響を、より詳しく調べるために体質（遺伝的な背景）に注目した研究を始めています。

この研究では、免疫の働きと放射線被ばく、特に低い線量の放射線被ばくとの関係を明らかにすることを目指しています。さらに放射線被ばくが、がんなどの病気にどのように関係しているのか、そしてその影響が体質によってどのように変わるのかを調べます。

具体的には、健診のときにご提供いただいた血液をもとに、次のようなことを行います。

- 血清（血液の液体成分）を使って、免疫や炎症に関係する指標（マーカー）を測定します。
- 血液の細胞から DNA を取り出し、その約 70 万か所に存在する SNP を調べます。



血液から DNA を抽出するための試薬調整作業

この研究では、「将来、ヒトの遺伝子に関する研究のために血液を使ってよい」とご同意をいただいた方の検体を利用させていただいています。

なお、この研究によってなんらかの結果が出た場合でも、参加された方に個々の遺伝情報の結果をお知らせすることはありません。今後、分析の正確さや病気との関係について、十分に研究成果として確立されたのちに個人情報を含まない形での集団的な解析結果を発表していきます。

### お知らせ >

## 郵便調査を予定しています

今年の秋ごろに郵便調査の実施を準備しています。

これまでに 1度も研究参加または健診受診をされていない方宛てに、簡単な質問票をお送りして研究への参加をお願いします。ご協力をお願いいたします。



## 健診担当者からのメッセージ

### 株式会社日立製作所 日立健康管理センタ 保健師 M.A.さん



当センタは茨城県北部の日立市にあります。福島第一原子力発電所に近い立地にあることから、震災後より継続し、現地で作業される方への定期的な保健指導などの健康支援をおこなっています。本研究事業には2016年度から参加し、緊急作業に従事された方々と直接お話ができる貴重な機会となっています。過酷な環境下で大きな使命のもと作業をされていたことをお聞きし、本当に頭が下がる思いであります。少しでも皆様の健康管理に寄与できるよう、今後も精一杯努めてまいりますので、ぜひ健診にいらしてください。お待ちしております。



株式会社日立製作所 日立健康管理センタ

### 白内障調査分科会 事務局 (金沢医科大学 眼科学) 伝馬 有紀子さん



白内障検診は研究に同意をいただいている方を対象としてご案内しています。ご希望の方にはお一人ずつ電話での予約調整をしていますが、突然知らない番号からの電話に戸惑う方もいらっしゃると思いますので、申込みの際に電話番号を登録していただければと思います。お忙しい中でも「行けます！」と言っていただくと嬉しくなります。また、都合がつかない時はお断りいただいて大丈夫です。

眼に不都合があると生活全体がぼやけてしまいます。人生100年時代ですから、早めに検査をして、視界良好で毎日をお過ごしいただきたいです。

今後とも引き続きご協力の程よろしくお願いたします。



金沢医科大学病院

### 江東微生物研究所 茨城支所 つくば営業所 伊藤 隆三さん



当社は創業以来「あらゆる検査ニーズに応え、地域社会に貢献する」を企業理念とし、地域に密着した総合的な医療関連サービスを展開しています。つくば営業所治験部門は以前より国立研究開発法人のコホート研究検査や分注保存業務を受託しており、その実績で2016年から「疫学研究」に携わっております。

各医療機関で採取された検体を直接お預かりして温度管理や衝撃等に十分配慮したうえで中央研究所つくばへ搬入いたします。搬入後は厳格な手順に則って専用の保存容器へ分注した後、超低温フリーザーに格納しています。

緊急作業に従事された方々へは敬意と感謝を忘れず、私たちは今出来る事を精一杯取り組んでまいりたいと思います。引き続きどうぞ宜しくお願い申し上げます。



江東微生物研究所 中央研究所つくば



検査室

### 労働安全衛生総合研究所 労働者放射線障害防止研究センター 保健師 A.T.さん



いつもNEWS疫学研究にご協力いただきありがとうございます。私はNEWS研究本部で健康診断の運営に関することや研究の補助として、皆様が入力された質問票の内容で不足する部分を補完するためにお電話して確認する仕事をしています。お電話する際は、お仕事の方でもいらっしゃると思いますのでなるべくお昼休みに電話をしたり、確認する内容についてもあらかじめ何点あるかをお伝えし、お時間がかからないよう気をつけています。NEWS健診を受診者する皆様には、少々回答する内容が多い質問票ですが、いつも丁寧にお答えいただき、また電話をしてもお忙しい中を快くご回答してくださり大変ありがたく助かっております。2024年度から、より皆様を受診しやすくなるよう、受診できる健診機関も多くなりました。またWebでの申し込みも開始しております。まだ健診を受診していない方も、継続して受診していただ

いる方も、NEWS健診の受診を今後ともどうぞよろしくお願いたします。



労働安全衛生総合研究所

## 高尿酸血症と食事

### 高尿酸血症とは

血液中の尿酸が7.0mg/dlを超えた状態を高尿酸血症といいます。高尿酸血症の状態が続くと、痛風、尿路結石、腎障害等のリスクが高まります。

尿酸は、プリン体という物質が肝臓で分解されてできた老廃物で、食品から摂取されるものが20%、細胞の新陳代謝やエネルギー代謝で作られるものが80%の割合です。プリン体は尿や便等から排泄されますが、尿酸が作られる量と排泄される量のバランスが崩れると高尿酸血症になります。

### 痛風発作とは

高尿酸血症の状態が続いて結晶となった尿酸が主に足の親指の付け根等の手足の関節にたまった状態で、その部分が炎症を起こして赤く腫れ激痛が起こります。



### 2015年度から2023年度のベースライン（1回目多項目健診）受診者の高尿酸血症

ベースライン健診受診者は6,435人で、年齢は23歳から80歳にわたり、これらの方の健診時の平均年齢は52.4歳でした。男性参加者6,422人のうち1,801人（28.0%）に痛風または高尿酸血症（自己申告および血中尿酸値が7.0 mg/dLを超える場合）が認められました。図1は、年齢群別にみた痛風または高尿酸血症の有病率を示しています。若年層（20～29歳）および50歳以上の高年齢層のいずれにおいても、有病率は約30%と高い水準でした。痛風または高尿酸血症と判定された1,801人のうち、治療薬を服用していたのは582人（32.3%）でした。図2は、この1,801人のうちの年齢群別の治療薬服用率を示しています。20代では、該当者の中に治療薬を服用している人はおらず、60代では約半数が治療を受けていました。これらの結果から、高尿酸血症は幅広い年齢層で一般的に見られる一方で、とくに若年層では治療が十分に行われていない状況が明らかになりました。

図1. 痛風または高尿酸血症の有病率  
(ベースライン受診時)

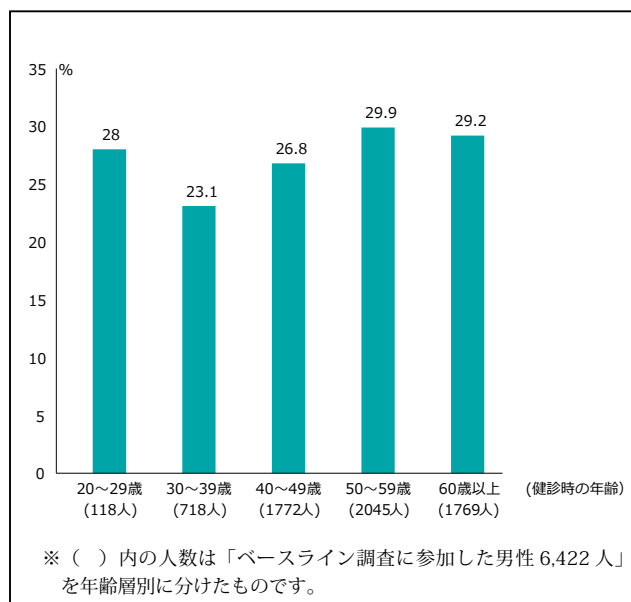
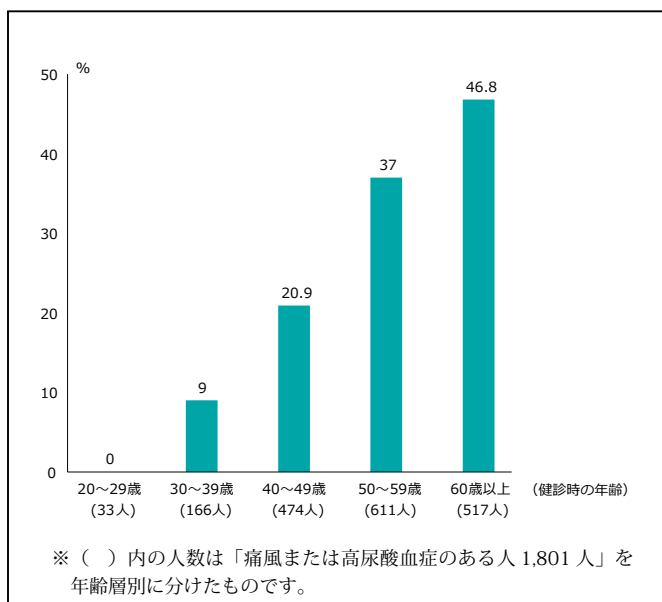


図2. 痛風または高尿酸血症に対する治療薬服用率  
(対象：1,801人)



高尿酸血症はメタボリックシンドロームや肥満、高血圧、脂質異常症、糖尿病などの生活習慣病のリスクを高めることが知られており、それらが進行すると脳卒中や心臓病を招く可能性があります。そこで下の4つのポイントに気を付けて、今からでも間に合う予防法を実践しましょう。

## 高尿酸血症を予防する4つのポイント

### ① アルコールを控えましょう。

アルコールはエタノールの代謝により尿酸が増加し、腎臓からの尿酸の排泄を抑制します。プリン体の少ないお酒を選ぶことは大事ですが、アルコールの量も控えめにする必要があります。



### ② 水分を多めに摂取しましょう。(目安は2リットル)

水分を取ることによって尿からの尿酸の排出を促します。ただしアルコールは水分には含まれませんので注意しましょう。



### ③ 有酸素運動を1日30分から60分しましょう。

運動負荷があまり高くなく、時間をかけて行う運動（ウォーキング、ジョギング、ゴルフなど）をしましょう。

ただし、尿酸値が高い場合は、激しい運動は控えましょう。激しい運動で汗をかいて体内の水分が減少するため尿酸の排泄が少なくなります。また運動をすることによってエネルギー代謝が高くなると、尿酸が産生されるからです。



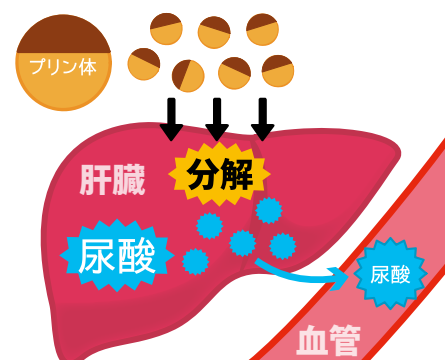
### ④ 食事に気を付けましょう。

詳しくは、次の高尿酸血症が気になる人の食事を参照してください。

## 高尿酸血症が気になる人の食事

### ① プリン体について

食事には食材由来のプリン体が含まれており、高プリン体の食材を多く摂取することによって血液中の尿酸が増加し、痛風発作のリスクが高まります。プリン体の1日の摂取量は400mg程度が推奨されています。右ページの表はプリン体を多く含む食材と少ない食材の代表例です。



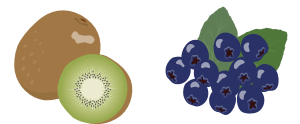
プリン体の量	代表的な食材
多い	レバー、肉類、魚の干物（煮干し・鰹節を含む）、白子、大正えび 
少ない	野菜、果物、豆類、全粒穀類  ※ただし果物に含まれる果糖はシヨ糖の構成成分のため、甘い果物は適量にしましょう。

プリン体を多く含む食材をなるべく控え、プリン体が少ない食材を多く摂るように気を付けましょう。そのほか、水分は毎日しっかり飲みましょう。（ただし、砂糖を多く摂ると血液中の尿酸が増加するので、甘味飲料や果汁ジュースの飲みすぎには気をつけましょう。）

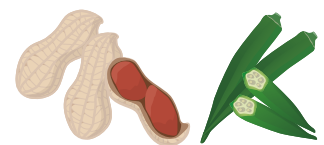
## ② 高尿酸血症が気になる人にご紹介したい食事法\*<sup>1</sup>

DASH 食や地中海食といわれる食事法を用いることによって血液中の尿酸が減少することが分かっています。

DASH 食とは：食塩、甘味飲料、肉類の摂取を減らす食事法で、日常的に果物、ナッツ、低脂肪乳製品、全粒穀物、鞘豆類（さやえんどうなど）を多く摂ることによって尿をアルカリ化させて尿酸を溶けやすくし、排出を促します。これらを1度に摂取するのではなく、朝食・昼食・夕食の3回に分けて少しずつ食べると良いでしょう。デザートや間食は、お菓子ではなく果物を適量摂ることをお勧めします。



地中海食とは：地中海沿岸の人々が古くから食べている伝統的な食事スタイルで、果物、野菜、ナッツ、豆類、全粒穀物、乳製品、オリーブオイルを中心とします。魚介類を週2回程度食し、肉類、甘味、菓子類を控える食事法です。



\* 1 食事法…食事だけで必ずしも高尿酸血症を予防できるわけではありません。尿酸値の高い方や症状のある方は早めに医師にご相談ください。

DASH 食と地中海食を参考にしたメニューを公式ホームページに掲載しています。ご覧ください。

<https://www.news.johas.go.jp/special/hyperuricemia/#section-3>



### 厚生労働省では、下記の相談窓口を設けています。

#### ◎ 緊急作業従事者の方向けの健康相談窓口（安衛研）

フリーダイヤル ☎ 0120-808-609 相談時間 9：30～17：00（平日）

E-mail : soudan-rad@h.jniosh.johas.go.jp

#### ◎ 労災保険相談ダイヤル

TEL : 0570-006031 相談時間 8：30～17：15（平日）\*ご利用には通話料がかかります

## 皆さまからの声 I

いつも貴重なご意見・ご質問、をありがとうございます。その中で多く寄せられたご質問にお答えいたしますとともに、これからも調査研究に活かしてまいります。

1 2年に1回でも人間ドック並みの健診を受けられるのはありがたいです。

A 多項目健診は、これまで5年に1回の受診でしたが、2年に1回受診できるようになりました。西暦の生まれ年が奇数の方・偶数の方に分けてご案内をしています。今年は西暦の生まれ年が奇数の方に受診していただけます。

2 健診が2年に1回になるとのことですが、今まで通り1年に1回が良いと思います。

A 年に1度の受診をご希望される方々もいらっしゃいますが、何とぞご理解とご協力をお願いいたします。

3 オンラインコミュニティ応援隊とは何ですか？

A 皆さまとイベントやアンケートを通じてコミュニケーションを図ることで、研究への理解を深め、今後も長く積極的にご参加いただけるように郵送でののご案内に加え、オンラインによる情報発信を行います。応援隊はいつでもホームページから応募していただけます。今年度は福島県いわき市で参加型イベントを企画しています。詳しくは本誌15ページ、またはホームページの「お知らせ」をご覧ください。



<https://www.news.johas.go.jp/news/>

4 前回の健診は交通費・謝金がありませんでした。年度によって違うのですか。

A 一昨年度までの交通費・謝金については、多項目健診は受診後に現金にて、基本健診は後日振込にてお支払いしておりました。昨年度からは金融機関への振込または普通為替でのお支払いに統一されています。健診申込後にお届けする「予約方法のご案内」に詳しい記載がございます。送金は、健診受診後、1か月～最長3か月（普通為替は最長4か月）ほどかかります。振込日等の通知はしておりません。なお、振込人名義はバイオコミュニケーションズ株式会社になりますのでご注意ください。ご不明な場合は、下記のNEWS健診予約センターへお問い合わせください。

お問い合わせ先：放射線業務従事者の健康影響に関する疫学研究  
NEWS健診予約センター

フリーダイヤル：0120-338-669（受付時間 平日 9:00-18:00）

〒222-0033 神奈川県横浜市港北区新横浜 2-15-10

バイオコミュニケーションズ株式会社（健診業務代行業者）内

お問い合わせ先

フリーダイヤル：0120-865-618（受付時間 9:00-17:00、土・日・祝日を除く）

メールアドレス：  
info.newstudy@h.jniosh.  
johas.go.jp



お問い合わせページ：  
<https://www.news.johas.go.jp/hp/inquiry.html>



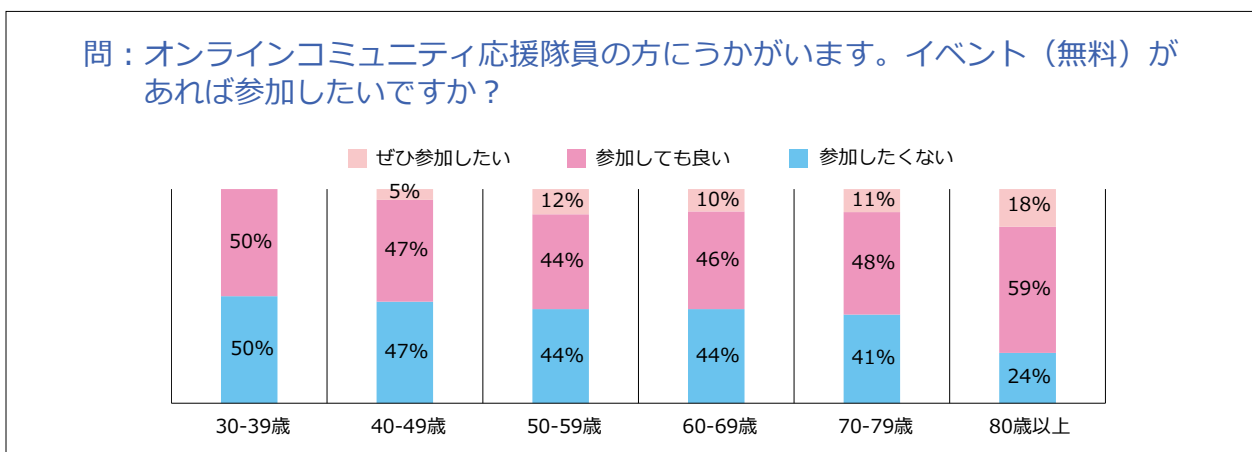
## 皆さまからの声Ⅱ

皆さまから寄せられた様々な「思い」をご紹介します。  
いただきます。 ※ご本人の承諾を得て掲載しています。

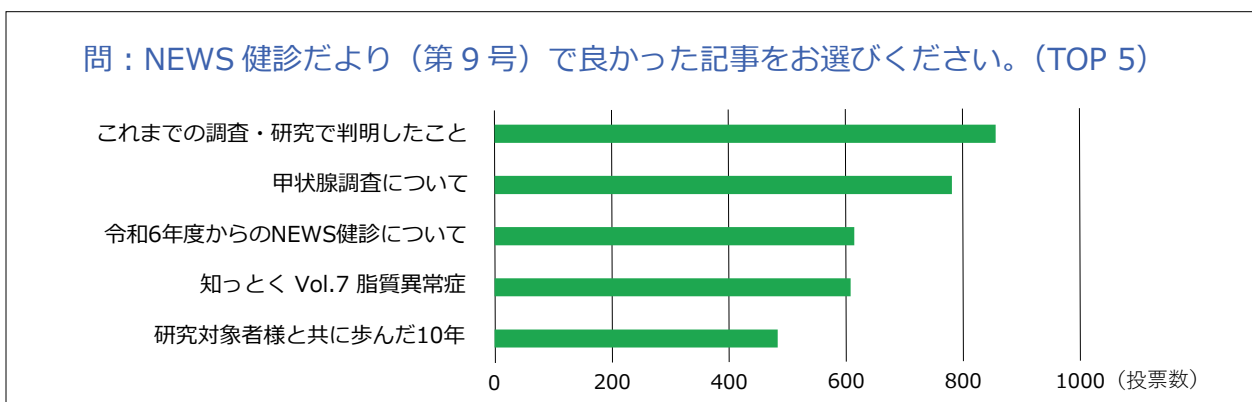
- これまでの調査研究で判明した事等自分たちが提供したデータを基にまとめられている事が知れて、提供して良かったと思います。  
(神奈川県 70歳代 橋本 龍男さん)
- いつもお世話になっております。みなさまのおかげで学べる事が多く、また「健診だより」を開くたび、自分は一人じゃないという安心感があります。これからはよろしく願いいたします。心より感謝を申し上げます。  
(山形県 70歳代 齋藤 隆さん)
- 予期せぬ福島原発事故の復旧に参加できたことは誇りに思っています。人々が、平穩に暮らしができるように願っています。  
(新潟県 70歳代 今井 和久さん)

### NEWS 健診だより第9号のアンケート結果 (2025年5月10日現在)

1,685名の方よりご回答をいただきました。ご協力ありがとうございました。その集計結果は次の通りです。



オンラインコミュニティ応援隊員は、年代が高い方たちが前向きにイベントの参加を考えておられます。



皆さまが、これまでの研究で判明したことや健診の受診方法、健康維持に強い関心を寄せられていることがわかりました。

今後とも皆さまのお役に立てればと考えています。

# オンラインコミュニティ応援隊の活動

オンランコミュニティ応援隊は2020年からNEWS健診だよりで募集を開始し、2025年3月31日までに2,037名の方からご応募いただきました。その中で応援隊員数が一番多かった福島県いわき市で第1回講演会・意見交換会を開催いたします。

- 日時▶ **2025年10月25日(土)** 13:30～16:00  
場所▶ グランパークホテル パネックスいわき (JRいわき駅より徒歩2分)  
参加費▶ 無料  
募集人員▶ オンラインコミュニティ応援隊員50名 (申込多数の場合は抽選となります。)  
締切▶ 2025年9月5日(金)  
交通費▶ 各自でご負担いただきます。  
(遠方から来られる場合も宿泊費は各自でご負担いただきます。)

第1回  
講演会・  
意見交換会  
粗品進呈

詳しい内容やお申し込み方法はホームページのお知らせをご覧ください。

<https://www.news.johas.go.jp/news/>



引き続きオンラインコミュニティ応援隊員を募集していますので、ご希望の方は公式ホームページのお問い合わせから「応援隊希望」のメールをお送りください。

上記の締切日時までに応援隊のご希望を出された方も講演会にお申し込みいただけます。

## 公式ホームページのご案内

2024年に公式ホームページをリニューアルしました。ぜひご覧ください。

### NEWS疫学研究 公式ホームページ

／ 特集 インタビュー ／ 労働安全衛生総合研究所労働者放射線障害防止研究センター長代理 溝上哲也



#### タイトル

「放射線業務従事者の健康を守る長期研究の挑戦」

- 内容
- ・全国に散らばる調査対象者の追跡の難しさ
  - ・長期的なコホート研究で大切なこと
  - ・長期にわたる研究は受診者の健康管理にも



URL : [https://www.news.johas.go.jp/tax\\_special/interview/](https://www.news.johas.go.jp/tax_special/interview/)

# NEWS

Nuclear Emergency  
Workers Study

厚生労働省労災疾病臨床研究事業費補助金

「放射線業務従事者の健康影響に関する疫学研究(NEWS)」

〒214-8585 神奈川県川崎市多摩区長尾6-21-1  
独立行政法人労働者健康安全機構 労働安全衛生総合研究所  
労働者放射線障害防止研究センター

お問い合わせ先 (土曜、日曜、祝日を除く)  
午前9時から午後5時

☎ 0120-865-618 (フリーダイヤル) 繋がりにくいときは TEL 044-865-6139

E-mail [info.newstudy@h.jniosh.johas.go.jp](mailto:info.newstudy@h.jniosh.johas.go.jp)



ウェブサイト <http://www.news.johas.go.jp/hp/top.html>

